

# ブラジル -米国の利上げ後の為替動向-

## <米国の利上げを受けて>

米国では12月16日、米連邦公開市場委員会（FOMC）でFF金利の誘導目標のレンジを0.25%～0.50%へ0.25%引き上げることが決定され、イエレンFRB議長は会見で利上げペースは緩やかになることを示唆しました。

これまで米国の利上げが警戒されてきましたが、FOMCが市場予想通りの結果となったことなどから、利上げ後はブラジルレアルに大きな波乱はありませんでした。

## <格下げと政治的混乱>

格付け会社のフィッチは16日にブラジルの長期外貨建て債務の格付けを「BBB-」から「BB+」へ引き下げ、見通しを「ネガティブ（弱含み）」としました。格下げは、景気の低迷や政治的な不安定感が増してきていることなどが背景にあります。9月のS&Pに続き、フィッチの格付けも投資不適格級に引き下げられた格好です。また、フィッチは、ブラジルを格下げしたことなどから、ブラジル石油公社（ペトロbras）の格付けを「BBB-」から「BB+」へ引き下げました。

ルセフ大統領の弾劾手続きが進められつつあるなど、政治的な不透明感は強まっています。18日には財政再建に積極的だったレビ財務相が退任することが発表され、財政再建に対する懸念が強まり、足元でブラジルレアルは軟調に推移しています。

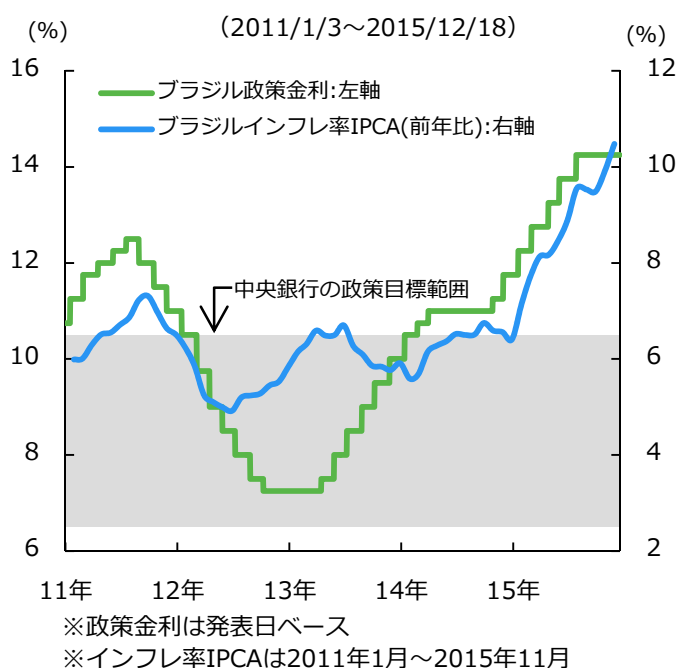
## <今後の見通し>

景気の低迷や政治的な混乱、財政再建の遅れなどを背景としてブラジルレアルは当面不安定な動きが続くことが予想されます。

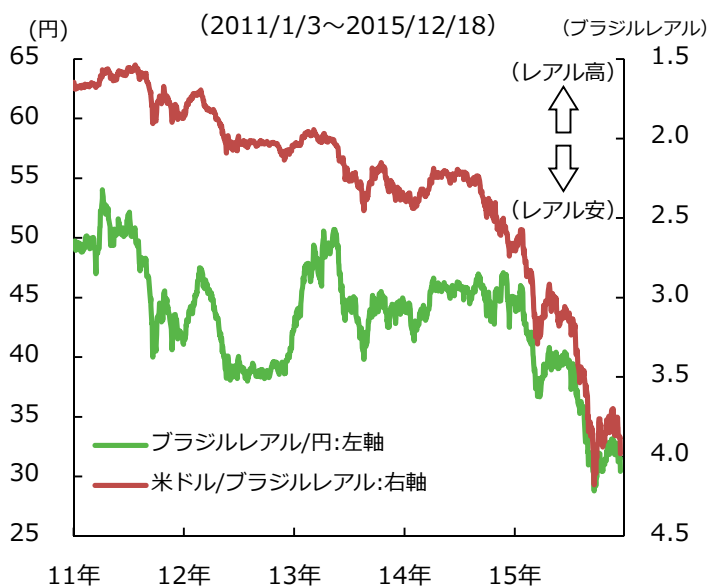
一方、米国で利上げが実施されたものの、今後の利上げペースは緩やかなものになることが示唆されたことで、米国の金融政策に対する過度な懸念は後退し、ブラジルレアルの下落圧力も和らぐ方向にあると考えます。

レビ財務相の退任は市場にネガティブな要因として受け止められていますが、後任のバルボザ新財務相はレビ前財務相の財政再建路線を踏襲することを表明しており、今後の財政健全化策の進展次第でレアルの評価が見直されることが期待されます。

## <政策金利とインフレ率の推移>



## <ブラジルレアルの推移>



出所：Bloomberg

## お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

### 手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.24200%（但し、最低 2,700 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会 : 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会